2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、多大なご支援、お引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の流行は未だ終息しませんが、当社はどのような状況下においても昇降機が重要な社会インフラである使命のもと、お客様に安心・安全をお届けできるよう、体制強化に努めてまいります。

2022年を振り返りますと、中期経営計画VISION2027の１年目として、着実に進出エリアを拡大した結果、自律成長のみで保守契約台数は過去最高の純増数となる見込みです。2020年に掲げた「５年後に保守契約台数10万台を目指す」目標もいよいよ現実的な水準に迫ってきています。デジタルサイネージ「LiftSPOT（リフトスポット)」は１万台設置を達成、６月から開始したJES認定リファービッシュ品の販売も順調です。2022年11月には気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に賛同しました。現代の会社は経済成長を追求するだけではなく、様々なステークホルダーや環境の持続的発展とのバランスを重視した成長を目指すことが求められており、当社グループにおいても強化してまいります。

2023年は、1994年10月の創業から数えて30年目と新たな節目の年を迎えますが、国際金融機関の予想によりますと、日本を含めた先進国経済は緩やかに減速する見通しとなっています。引き続き、地域紛争、サプライチェーンの混乱といった波乱要素を数多く抱える中、日銀総裁の交代に伴う金融政策変更の可能性などにも配慮して、機動的な経営で対応していく必要があります。

その一方で、2023 年は通常の社会生活を取り戻す動きがいよいよ本格化する年でもあります。「何よりも安全のために」「見えないからこそ手を抜かない」「信頼を礎に」の経営理念の下、本年当社グループでは、私たちの強みである「適正価格で高品質なサービス」をより多くのお客様に提供し続けるべく、従業員教育・研修にも引き続き注力し、グループ全体の技術力・サービス品質の更なる向上を図ってまいります。

最後となりますが、皆様のこの一年のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2023年1月4日

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長　ＣＥＯ　石田　克史